



目黒の未来に、

無責任でありたくない!

かいでん 和弘

かずひろ

無所属 25歳

Vol. 2 ◆ 2019年 2月 11日発行

Theme 子育て支援について

プロフィール

- 1993年 ● 11月23日生まれ (25歳)
- 2006年 ● 目黒区立原町小学校 卒業
- 2012年 ● 都立桜修館中等教育学校 卒業 (旧 都立大学附属高校)
- 2016年 ● 北海道大学 法学部 (政治学専攻) 卒業
- 2016年 ● 民間のコンサルティング会社 就職
市区町村の調査・行政計画策定やPR業務に携わる。

特技・趣味 チェロ演奏、剣道 (2段)

好きなもの 野球観戦、水泳、読書、クラシック音楽、旅行、鉄道、歴史研究

こんな目黒をつくりたい (3つの方針)

- 方針1 若い世代も区政へ参画「目黒の未来は自分たちでつくろう」
- 方針2 子育て施策の充実「次の世代はみんなで育てる」
- 方針3 ご高齢の方の活動場所の充実「手ごたえのある日々を、目黒区で」

こんにちは。未来志向の目黒区政を実現するため、無所属・最年少で活動中のかいでん 和弘です。今回は私の目指す3つの方針の中から、方針2の「子育て施策の充実」についてまとめました。

なぜ 25歳が子育てについて訴えるのか

私には子育て経験がありません。「そんな人間が子育てを語るな」というご指摘もあると思います。でも、私が日本の未来を憂う根本の理由は人口減少。そうである以上、子育てについて黙っているわけにはいきません。自分の経験に固執することがない分、データと知識に基づいてこれからの子育ての在り方を提案していきます。

近年の、子育てをとりまく環境の変化

① 核家族世帯の増加

区内でも、核家族世帯(親と子どもだけで暮らす世帯)が増え続けています。

手助けが欲しい時に祖父母など頼れる人が近くにいない核家族やひとり親家庭は、行政や地域で支える必要があります。

目黒区の核家族世帯数(国勢調査より)

2005年	26,453
2010年	28,144
2015年	30,026



② 共働き世帯の増加

もはや夫だけで安定収入を得られる時代ではなく、夫婦ともに働く世帯がスタンダードとなっています。



目黒区の子育て環境は今...

① 待機児童が多い ... 330人 (全国ワースト8位)

都内での順位

- ワースト1位 世田谷区 486人 (0-5歳人口 37,276人)
- 2位 江戸川区 440人 (0-5歳人口 30,018人)
- 3位 目黒区 330人 (0-5歳人口 11,519人)

② 出生率が低い ... 1.07 (都内ワースト5位)

合計特殊出生率

一人の女性が一生のうちに産む子どもの人数のことで、人口を減少させずに維持するためには2.07以上が必要といわれています。



目黒区は子どもの人数が少ないのにこの待機児童数...

かいでん 和弘

かすひろ

無所属 25歳

Theme 子育て支援について

◆ 2019年 2月 11日発行

私は目指します。

個別の政策の詳細は、次号以降の資料またはブログで記載していきます。

1 共働きでも子育てできる目黒

① 待機児童問題の解消

共働き世帯・核家族世帯の最大の敵は待機児童問題。保育園の増設・定員数の柔軟化・事業所内保育の推進など、あらゆる手段で待機児童問題の解消に注力します。目標は待機児童ゼロではなく、待機児童マイナス(希望の園を選べる状態)。

② 放課後の居場所づくり

学童保育や放課後こども教室を一層推進していくとともに、小学校校庭を開放するランドセル広場(晴天時のみ)について、雨天時の体育館や図書室開放を提言するなど、学校を中心とした放課後の居場所づくりの拡充を目指します。

③ 小学校卒業までのインフルエンザワクチンの補助

共働き世帯にとって子どものインフルエンザは大打撃。小学校卒業まで予防接種に補助金を交付するよう、提言します。

2 頼れる親類がいなくても子育てできる目黒

① 急な用事に預けられる施設の充実

いざというときに子どもを短時間預けられる施設が、目黒区では現状、“昼間”の施設が1か所(利用率ほぼ100%)、“夜間”の施設はゼロと、不足しています。核家族世帯の子育て支援のためにも、一層の充実を目指します。

② ファミリー・サポート事業の拡大

今後の財政難の時代にも持続できる社会へ向けて、区の施設に頼らずに”地域で子育てを支える”関係づくりの一環として、ファミサポに頼める範囲を拡大(家事援助、習い事への付き添い)するなど、より使いやすい制度を目指します。

3 子どもが個性を発揮できる目黒

① 文化施策の充実

音楽、美術、書道など子どもたちが勉強以外の活動にも触れやすい環境づくりを推進します。例えば、4月から中目黒に移転してくる東京音楽大学と区民との交流について、楽器(チェロ)を演奏する一人として積極的に呼びかけていきます。

② 子どもの教育支援

「スタディクーポン」制度(塾などに通う経済的余裕のない家庭に区がクーポンを発行する)の導入を提言していきます。

③ 隣接小学校希望入学制度の再開

児童を受け入れるキャパがない学校が生じた、という理由で休止が決定された、希望入学制度(複数の近隣区立小学校の中から入学先を選べる制度)は、学校も競争を通して魅力を高め合うべきという考えから、復活に向け訴えていきます。

④ 部活動の応援

部活動の専門指導員として区内のスポーツクラブやセミプロ・プロの方など地域人材を活用することで、教職員の方の負担が少なく、生徒もより高度な指導が受けられるような部活動を目指します。



後援会 **かいでん応援団**

〒152-0013 東京都目黒区南1-1-11

☎ 090-3145-1156

✉ kazukaiden@gmail.com

HP・フェイスブックにて、活動記録を公開中です。

ラインからもお問い合わせ可能です。

かいでん和弘

🔍 検索

<https://www.kazu-kaiden.com>

